



# 挑戦する心

～温もりに満ちた学校へ～

校長室だより 12月号

2023.12.5

- ・<求めてやまぬ心>
- ・思いやりと温かな心
- ・言葉で伝え心で聴く
- ・自ら主体的に行動

## 今やらなければならないこと

12月に入りました。令和5年(2023年)の学校での生活も、あと3週間となりました。1か月後にはもう年が変わっています。12月は「師走(しわす)※」とも言い、昔から大変慌ただしく時が過ぎ去っていく月だとされています。

※ 師走(しわす)

昔、年末は家々で師(僧)を迎えて読経などの仏事を行うために、師が東西に忙しく走り回っていたことが、年の暮れの人事往来の慌ただしさと一致することから、12月の呼び方として親しまれている。<他説あり>



先月の校長室だよりで、「今、自分のやるべきことをしっかりとやれるようにすることが、ものすごく大切になる」と書きました。その理由について、少し詳しく説明します。

冒頭にも書きましたが、2学期はあと少しで終わり、あつという間に大晦日、お正月となり、3学期を迎えることになります。



そして、3学期は、みなさんも経験しているとおり、本当に短いです。ところが、この3学期は、みなさんが中学生として

成長し、次のステージへ元気に向かっていけるようになるためにとっても大切な時期なのです。3年生は、人生の岐路に立ち、自分の力で判断し、進んでいく場面がすぐに

やってきます。1年生にとっても、新しく入学してくる後輩たちに先輩としての正しい姿を見せる準備を、2年生にとっても、最上級生となり、学校を引っ張っていきながら自分の進路実現に向かっていく準備を、すぐに始めないといけません。<u>3学期になってから</u><u>春休みになったら</u>などと思っ

ている間にその時はやってきます。だから、今の自分を見つめ直し、今やるべきことをしっかりやってほしいのです。今を頑張ることが、短い



3学期を充実させることにつながり、さらに<u>4月からの「なりたい自分」の実現</u>につながるのです。一年の中で最大級の「節目」も近づいてきています。慌ただしい12月ですが、ぜひ、今を大切にしてください。期待しています。



12月の心のテーマ

「思いやりの心を大切に

行動しよう」

今年1年、学校では様々な取り組みが行われてきました。その全てが、みなさんを成長させてくれましたね。そして、その取り組みには、陰になり日なたになりみなさんを支えてくれた仲間、家族、



先生がいたはずです。感謝の気持ちを思いやりの心で表してみましよう。